

# 工作機械工業 収益状況集計

## (2022年度 第2四半期)

会員企業のうち2022年11月迄に2022年度第2四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業15社を集計。集計調査対象企業における専業比率は85.6%。なお、今期は前年度と同社の15社で集計した。

### 1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要(15社)

(単位：百万円・%)

	22年度	22年度	22年度	前年同期比	21年度
	I期	II期	I～II期		I～II期
売上高	186,091	224,350	410,441	+29.4	317,263
売上総利益	56,125	67,398	123,523	+36.8	90,301
売上総利益率	30.2	30.0	30.1		28.5
営業利益	13,051	19,023	32,074	+77.1	18,106
営業利益率	7.0	8.5	7.8		5.7
経常利益	18,065	21,449	39,514	+82.4	21,668
経常利益率	9.7	9.6	9.6		6.8
当期利益	13,156	15,049	28,205	+90.5	14,808
当期利益率	7.1	6.7	6.9		4.7
総資産	1,175,963	1,219,465	1,219,465	+16.3	1,048,228
純資産	706,986	734,026	734,026	+14.5	641,159
自己資本比率	60.1	60.2	60.2		61.2
自己資本 当期純利益率 (ROE)	7.4	8.2	7.7		4.6

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧(連結・I～II期計・前年同期比) (15社)

(単位:社)

	増加	減少	合計
売上高	13	2	15
売上総利益	11 (0)	4 (0)	15 (0)
営業利益	11 (0)	4 (1)	15 (1)
経常利益	11 (0)	4 (1)	15 (1)
当期利益	11 (0)	4 (1)	15 (1)

※( )内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

## 2. 2022年度通期見通しの概要

**表3 【第2四半期時点】連結業績予想の概要（15社）**

（単位：百万円・％）

	2022年度通期見通し			2021年度実績
	第1四半期時点	第2四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	837,549	863,924	+19.2	724,881
営業利益	73,933	75,498	+42.3	53,065
営業利益率	8.8	8.7		7.3
経常利益	75,853	81,111	+34.5	60,321
経常利益率	9.1	9.4		8.3
当期利益	55,275	59,258	+32.3	44,785
当期利益率	6.6	6.9		6.2

**表4 【第2四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（15社）**

通期 (対前年度比)	増収増益	12社 (増減なし)	増収減益	2社 (1社減)
		減収増益	0社 (増減なし)	減収減益

### ◎第1四半期時点からの修正理由

**【売上高、経常利益とも上方修正 …3社】**

○第2四半期までの業績と、今後の工作機械需要の見通しや為替レートなどを考慮し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ前回予想を上回る予想とした。

○売上高は工作機械及び産業機械の販売増加及び円安進行により期初予想を上回る見込み。利益面においては、営業利益は新型コロナウイルス感染症の影響や、原材料及び輸送費等のコスト上昇を勘案し期初予想を据え置いた。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、円安進行による為替差益の影響を考慮し、期初予想を上回る見込み。なお、修正予想の前提となる下期の主な為替レートは、1ドル130円、1ユーロ135円を想定。

○部材の調達状況など不透明な要素は残るものの、第2四半期連結累計期間の実績に加え、特機事業、工作機械事業ともに第3四半期以降も引き続き市況が好調に推移するものと見込まれることや、為替の影響により、売上、利益ともに前回予想を上回る見通し。見通しの前提となる第3四半期以降の為替レートは、米ドルは110円から125円に、ユーロは125円から130円に変更。

**【売上高は下方修正、経常利益は上方修正 …1社】**

○売上高は、防衛関連の受注に加え、円安による輸出採算の改善による増収効果はあるものの、建材の防音サッシ売上減少などの減収要因により、前回予想を下回る見通し。営業利益は、増収要因と減収要因が概ね同程度と想定されることから、当初の予定通りとなる見通し。なお、為替差益、受取配当金を計上したことなどにより、当初予想比で営業外収益が増加すると見込まれることから、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見通し。

**【売上高、経常利益とも下方修正 …3社】**

○売上高については、若干計画を下回るものの、工作機械関連事業において国内販売が伸長しており、前期比大幅な増収を予想。利益面について、工作機械関連事業においては、新機種開発や国内外の展示会出展などの積極投資による経費増加を見込む。部品加工関連事業においては、上期に四輪関係の客先における部品調達難による生産調整や電力料等高騰の影響による悪化があったものの、下期は四輪関係の生産回復や電力料等の価格転嫁が進み改善を見込む。

○足元の受注は依然堅調に推移しているが、部材の調達状況を踏まえ、売上高を修正。また、将来の更なる成長に向けた海外マーケティング体制強化のための人員増強、新機種開発やラインナップ拡充などを見据えた開発人材の抜本的強化や先行開発投資、ならびに生産性向上を図るための設備投資を実施するため、利益を修正。

○第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、修正。

### 3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (15社)

(単位:百万円・%)

	22年度		21年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	351,500	+34.1	262,163
営業利益	29,173	+89.4	15,401
営業利益率	8.3		5.9
専業比率	85.6		82.6

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (25社)

(単位:百万円・%)

	22年度		21年度 I～II期
	I～II期	前年同期比	
売上高	468,948	+26.5	370,739
営業利益	39,300	+62.1	24,249
営業利益率	8.4		6.5
専業比率	33.4		31.3

※表5の対象企業15社に加え、セグメント情報を公表している  
専業比率30%以下の会員企業10社を加えた25社で集計

#### 【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社  
 浜井産業株式会社  
 豊和工業株式会社  
 小池酸素工業株式会社  
 株式会社牧野フライス製作所  
 株式会社岡本工作機械製作所  
 ニデックオーケー株式会社  
 オークマ株式会社  
 西部電機株式会社  
 株式会社ソディック  
 スター精密株式会社  
 株式会社太陽工機  
 高松機械工業株式会社  
 株式会社TAKI SAWA  
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

シチズンマシナリー株式会社 (シチズン時計株式会社)  
 株式会社FUJI  
 株式会社不二越  
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)  
 黒田精工株式会社  
 ミロク機械株式会社 (株式会社ミロク)  
 株式会社三井ハイテック  
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)  
 株式会社桜井製作所  
 芝浦機械株式会社